

一般用マイクロデータ詳細品目版の作成手法（仮） ～平成 21 年全国消費実態調査に基づく擬似データ～

統計技術研究課（統計センター） 伊原 一
調査企画課（総務省統計局） 平澤 鋼一郎

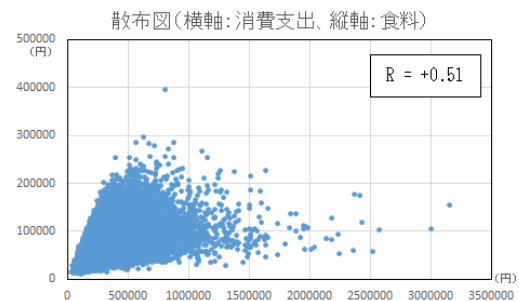
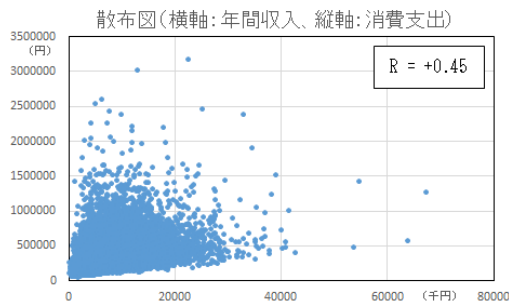
統計センターでは、総務省統計局との共同研究として、一般用マイクロデータの作成手法について研究を行っており、平成 21 年全国消費実態調査に基づく擬似データとして、平成 28 年 3 月に 12 項目（年間収入、消費支出、10 大費目）のデータについて提供を開始し、平成 28 年 12 月からは 12 項目間の相関を反映した改訂版を提供している。

平成 29 年 6 月に公開した一般用マイクロデータの詳細品目版については、相関を反映した改訂版を基に、世帯属性別の特化係数に着目することで 12 項目間（年間収入、消費支出、10 大費目）の相関を維持しつつ、410 品目分類間の相関について再現を図った。具体的な作成手法としては、世帯属性別の特化係数を反映した 410 品目分類別の構成比を按分比率として、10 大費目に乗算して得られた按分値をさらに乱数化する方法を用いている。

一般用マイクロデータについては、平成 29 年 6 月から詳細品目版の提供を開始しており、集計プログラムのテストや統計演習等に活用されることが期待される。

(1) 十大費目版（平成 28 年 3 月提供開始、12 月改訂）

- ・ 統計局公表の度数、平均、標準偏差を基に対数正規乱数により作成
- ・ 改訂版として 12 項目間（年間収入、消費支出、10 大費目）の相関係数を反映



(2) 詳細品目版（平成 29 年 6 月提供開始）

- ・ 公表結果（品目編）から 410 品目分類の構成比を計算
- ・ 世帯属性による複合特化係数を計算
- ・ 改訂版の 10 大費目ごとに 410 品目分類の按分値を計算
- ・ 410 品目分類の按分値を乱数化

